

シラバスの見方

山口芸術短期大学・芸術表現学科・専攻科

シラバス（講義概要）：シラバスとは、授業に関する詳細な計画書のことです。シラバスには、教科・科目をはじめとする様々な教育活動について、目標と内容、使用教材、指導計画、指導方法、評価方法等を記載しています。

科目名	A	教員	F	関係性が最も強い学修成果	①	勤労観	J
					②	主体性	J
③	教養	J					
④	コミュニケーション能力	J					
⑤	専門分野の知識・技能	J					
⑥	創造力	J					
⑦	課題解決力	J					
⑧	変化への適応力	J					
ナンバリングコード	B	学科	G				
授業形態	C	単位	H				
年次	D	卒業要件	I				
授業科目の取扱い	E						
授業テーマ	K						
授業概要	L						
到達目標	M 1.						
	2.						
	3.						
履修条件・注意事項	N						
授業計画	O					到達目標	授業方法
						O	O
アクティブ・ラーニング	P						
成績評価基準	Q 評価の方法： 評価の基準：						
フィードバックの方法	R						
時間外の学習について	S 予習： 復習：						
教材にかかわる情報	T テキスト： 参考書： 参考資料：						
実務経験を活かした活動について	U						
担当者からのメッセージ等	V						

A 授業科目名を記載しています。

B 科目ナンバリングコードを記載しています。詳細は「ナンバリングシステムについて」で確認してください。

C 授業形態を記載しています。 講義・演習・実技・実習等。

D 開講期間と履修年次を記載しています。

E 面接授業科目または遠隔授業科目かを記載しています。（※卒業要件として修得すべき単位の内、遠隔授業科目は30単位以内）

F 担当教員名を記載しています。

G 学科・コース名を記載しています。

H 単位数を記載しています。

I 卒業資格を得るために必要な科目として必修・選択を記載しています。

J 卒業までに修得することが期待される資質・能力である①～⑧の「学修成果」と関係性が最も強い項目を「O」で示しています。

※詳しくは卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を確認してください（28ページ ※専攻科は164ページ）。

K 授業のねらいやテーマについて記載しています。

L 授業のあらましを記載しています。

M ディプロマ・ポリシーに係る到達目標を記載しています。

N 履修する科目の順番や条件等注意事項を記載しています。

O 授業スケジュール（各回で扱う内容等）、関係する到達目標、授業の方法（面接・オンデマンド・同時双方向）を記載しています。

P 主体的な学びを促進するために取り入れるアクティブ・ラーニングの、授業時間内で該当する学習形態について記載しています。

Q 成績の評価の方法と評価の基準を記載しています。

R 課題等（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法について記載しています。

S 担当教員より、この授業科目の予習・復習についてのアドバイスを示しています。

T 教科書及び補助教材について記載しています。

U 実務経験をいかした教育内容について記載しています。

V 担当教員より学生に伝えたいメッセージ等を記載しています。実務経験をいかした教育内容について記載しています。

シラバスの見方

山口芸術短期大学・保育学科

シラバス（講義概要）：シラバスとは、授業に関する詳細な計画書のことです。シラバスには、教科・科目をはじめとする様々な教育活動について、目標と内容、使用教材、指導計画、指導方法、評価方法等を記載しています。

科目名	A	教員	E	免許・資格との関係	保育士	I	関係性が最も強い学修成果	①	主体的に学び続ける意欲	K
					幼稚園教諭	I		②	協調的な生活態度	K
ナンバリングコード	B	学科	F	卒業要件	J			③	教養	K
授業形態	C	年次	G					④	豊かな感性と表現力	K
授業科目の取扱い	D	単位	H					⑤	保育の計画力	K
								⑥	保育の指導力	K
教科及び教職に関する科目	L							⑦	専門的なコミュニケーション能力	K
各科目に含めることが必要な事項	L							⑧	課題解決能力	K
教科目	L									
系 列	L									
授業テーマ	M									
授業概要	N									
到達目標	O 1.									
	2.									
	3.									
履修条件・注意事項	P									
授業計画	Q						到達目標	授業方法		
							Q	Q		
アクティブ・ラーニング	R									
成績評価基準	S 評価の方法： 評価の基準：									
フィードバックの方法	T									
時間外の学習について	U 予習： 復習：									
教材にかかわる情報	V テキスト： 参考書： 参考資料：									
実務経験を活かした活動について	W									
担当者からのメッセージ等	X									

A 授業科目名を記載しています。

B 科目ナンバリングコードを記載しています。詳細は「ナンバリングシステムについて」で確認してください。

C 授業形態を記載しています。 講義・演習・実技・実習等。

D 面接授業科目または遠隔授業科目かを記載しています。（※卒業要件として修得すべき単位の内、遠隔授業科目は30単位以内）

E 担当教員名を記載しています。

F 学科名を記載しています。

G 開講期間と履修年次を記載しています。

H 単位数を記載しています。

I 免許・資格を得るために必要な科目として必修・選択を記載しています。

J 卒業資格を得るために必要な科目として必修・選択を記載しています。

K 卒業までに修得することと期待される資質・能力である①～⑧の「学修成果」と関係性が最も強い項目を「O」で示しています。

※詳しくは卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を確認してください（98ページ）。

L 免許・資格を得るために必要な科目について必要事項・科目区分を記載しています。

M 授業のねらいやテーマについて記載しています。

N 授業のあらましを記載しています。

O ディプロマ・ポリシーに関係する到達目標を記載しています。

P 履修する科目の順番や条件等注意事項を記載しています。

Q 授業スケジュール（各回で扱う内容等）、関係する到達目標、授業の方法（面接・オンデマンド・同時双方向）を記載しています。

R 主体的な学びを促進するために取り入れるアクティブ・ラーニングの、授業時間内で該当する学習形態について記載しています。

S 成績の評価の方法と評価の基準を記載しています。

T 課題等（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法について記載しています。

U 担当教員より、この授業科目の予習・復習についてのアドバイスを示しています。

V 教科書及び補助教材について記載しています。

W 実務経験をいかした教育内容について記載しています。

X 担当教員より学生に伝えたいメッセージ等を記載しています。実務経験をいかした教育内容について記載しています。

